



「川内川あらし」という現象をご存知ですか？
本市では、日本でも3カ所（※）しか見ることができない、霧を伴う珍しい気象現象が発生するらしいけど、そもそも「川内川あらし」って何なのでしょう？
今月はそんな謎の多い「川内川あらし」について探っていききたいと思います。

※兵庫県豊岡市の「円山川」、愛媛県大洲市の「肱川」、本市の「川内川」の3カ所



川内川あらしって？

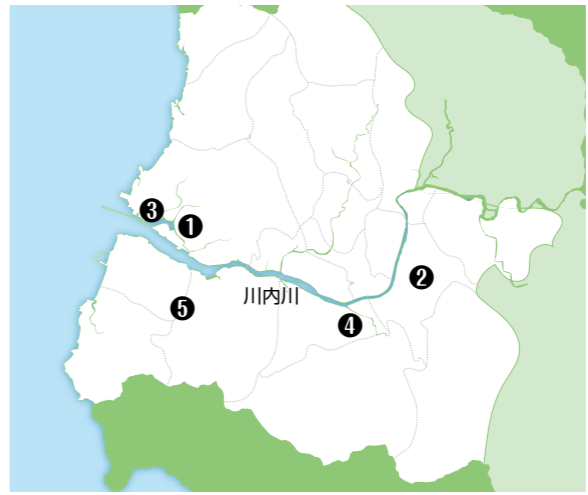
川内川あらしとは、風が弱く冷え込んだ晴天の朝に、川内川河口付近で発生する「霧を伴った嵐のような強風」のこと。
秋から春にかけての寒い時期に、川内川流域の内陸部では霧がよく発生するらしいんだけど、この霧は川内川に沿ってゆっくりと下流に流れ出し、平地が広がる市街地付近では、霧が広範囲に広がるとともに、さらにゆっくりとした流れとなるのだそう。
でも、市街地付近から下流にかけては、川の両側が次第に山に挟まれていく地形で、河口付近はさらに狭い場所（狭い部分）にもなるため、霧も次第に狭い場所を集まって、流れが一段と速まるんだって。このことが「川内川あらし」をもたらす原因と考えられているよ。
また、霧は冷たい空気を伴っているため、暖かい海水と混ざる河口付近では、蒸気霧（けあらし）が発生し、河口から数キロメートルにわたって扇状に海に広がるんだって。
ちなみに、蒸気霧は市街地からでも発生する様子を見ることができよ。



▲水面から上がる蒸気霧。数メートル先が見えないほど濃い霧が広がることもあります。

見るならここ!! おすすめの見どころ

普段は霧景色しか見られないけど、写真のようなきれいな川内川あらしはどこで見ることができているのかな。
世界自然遺産認定を目指し、PR活動などを行っている「川内川あらし協議会」の方に、おすすめのビュースポットとその魅力を聞きました。



- ①月屋山 (港町)
▲川内川あらしを一番近い場所で楽しめる場所。霧がダイナミックに動く様子を間近で楽しめます。
- ②せんだい宇宙館 (永利町)
▲明け方に市街地付近に流れ込む雲海を楽しめます。
- ③川内港高速船ターミナル (港町)
▲水面から蒸気が沸く様子が見られます。
- ④清水ヶ丘公園 (宮里町)
▲展望台から川内川下流方向を見ると雲海の上に浮かぶ山々が楽しめます。
- ⑤柳山 (高江町)
▲河口に流れ込む川内川あらし全体の様子を楽しめます。

こんなときに 見られる・・・かも。

いつでも見られるとは限らない川内川あらしをどうやって見られるのかな。
川内川あらし協議会の会員である、気象予報士の今村聡さんに尋ねたところ、発生条件は日によって異なるため、気象予報士でも発生の予測は難しいんだそう。
でも、これまでの経験から見られる可能性が高い条件があるらしいので、教えてもらいました。

○湿度が高く、よく冷えて、風が弱い、晴れる予報の日

目安となる湿度や気温を示すことは難しいですが、風の強さは天気予報の「波の高さ（1mぐらい）を目安にすると良いそうです。前日が雨の日は、見られる可能性がより高いのだとか。また、日によって前後します。時間は6時30分〜8時ごろがおススメとのこと。

○ライブカメラやツイッターを
チェック!

川内川あらし協議会のホームページ内にあるライブカメラで川内川上流（東郷町斧淵付近）の様子をチェックし、霧が発生していたら、1時間後には市街地から河口付近で見られる可能性が高いんだって。
また、ツイッターでは毎朝6時前後に、FMさつませんだいで7時台の「OHAYO! さつませんだい」のキリノポストというコーナーで発生状況を発信しているそうです。



見るだけじゃない! 体験 できる川内川あらし

さらに、ホームページにも載っていないおすすめ場所も特別に紹介します。その場所はなんと・・・

「川内河口大橋」!!



今村さんによると、こちらは河口に近いことから、海に向かって吹く強い風やそれに沿って流れる霧を肌で直接感じられるのだそう。



▲ゴーグルを着けると、視界の360°が覆われ、限りなく現実に近い世界を体験できます。

さらに、これに満潮の時間も重なれば、大規模な蒸気霧を見ることがもできるんだとか。
もし見られなくてもご安心ください! 高速船ターミナルには川内川あらしを疑似体験できるVRが設置されていますので、時間や天気に関わらず見ることが出来ます。

川内川あらしの魅力って?

川内川あらしの魅力は何なのでしょう。川内川あらしPR隊の有馬奈々さん（写真右）小牧葵さん（写真左）にお伺いしました。



▲運が良ければ、影の周りに虹の光輪が現れる「ブロッケン現象」を見ることが出来るかもしれないんだって!! ※写真は「ブロッケン現象」の一例

日本中にたくさんさんの川が存在する中で、たった3カ所しかない「川あらし」の一つが地元で見られることをとても誇りに思います。（有馬さん）

雄大な姿を見せてくれるところや、その時その時で違った表情で、同じ川内川あらしが一つとしてないところが魅力です。（小牧さん）

お二人とも、もっと市内外の多くの方々に魅力を伝えていきたいと情報発信しています。



みんなで解明しよう!

今回、協議会にいろいろなお話を聞かせてもらいましたが、川内川あらしのメカニズムは解明の途中で、まだまだ分からないことばかりなんだって。そのため、協議会では皆さんからもツイッターやラジオなどの情報提供など、協力を頂いて解明をしていきたいと考えているそうです。
皆さんも、天気予報を見ながら出掛け、「川内川あらし」の素晴らしさを体感してみたいかがでしようか。
きれいな写真が撮れたらぜひ「読者のひろば（P.26参照）」にもお寄せくださいね。



▲川内川あらし協議会ホームページ



▲川内川あらしツイッター

皆さんが知りたいことや紹介したいことなどがありましたら、情報をお寄せください。
問合せ/本庁秘書広報課
企画総務・広聴広報G
(内線4122)

